

筑後川（筑紫次郎）吉野川（四国三郎）兄弟縁組写真展開催概況

開催日 2006年10月16日～11月17日

開催場所 吉野川市鴨島町 鴨島公民館

観覧者数 約1575名

2005年7月愛知県豊田市で開催された『川の日』ワークショップで、四国三郎吉野川、筑紫次郎筑後川、坂東太郎利根川といった先人からもらった共通の名前を資源と考へて、この資源を活用して川を介した流域間の交流を提案した。

この『川の日』ワークショップに参加していた筑後川関係者と話しが進み、筑後川・吉野川の川の関係者相互に訪問をするなど兄弟縁組に向けての交際が進みつつある。

しかし川の関係者ばかりでなく、広く流域の方に筑後川と吉野川が兄弟縁組に向けて進めていることと、それぞれの川を知ってもらいイメージしていただくために、両河川の写真展を開催した。

兄弟縁組交際展といったテーマについて、観覧者には奇異な点もあったが川の兄弟縁組と言ったことでの新鮮さもあり、熱心に観覧してくれた。特に筑後川のムツゴロウや3連水車などすでに情報があるものの、筑後川と結びつきが出来なかつためんがあつたが、この写真展でより筑後川のイメージづくりが出来た。吉野川についても雪のかずら橋など普段見ることができない風景は、観覧者の関心を誘っていた。

写真展観覧者に別添アンケートを願ひしたところ、40名の方から回答をいただいた。

この回答から得られることは、今後とも広く流域の方に兄弟縁組についてのP・Rを積極的に行うこと、両河川の兄弟縁組についての関心が高いことが分かつた。

今後両河川において、流域の方に川のイベントの中で兄弟縁組のP・Rを進めて行きたい。

四国三郎吉野川と筑紫次郎筑後川
兄弟縁組交流写真展

写真展開催のあらまし

古くから吉野川を四国三郎と言った異名で呼ばれていました。同じように筑後川を筑紫次郎、利根川を新幸太郎と呼ばれていました。暮れ川といったことで、長男の太郎、次男の次郎、三男の三郎と言った名前がついたといわれています。

先人が付けていただいた縁ある名前を、大切な地域資源と考えてこれを活かすことから、これらの川の兄弟縁組が出来ればと考え、昨年夏から次男の筑後川との兄弟縁組に向けて、NPO法人筑後川流域産物販売の会を中心に交流を進めています。

今回の写真展は7月開催された吉野川フェスタに筑後川から35名の方が参加いただき、併せて写真展を開催いたしました。次男である筑後川を吉野川の流域の方々に広く知っていただくために写真展を開催いたしました。

主 催 吉野川交流推進会議
吉野川渡し研究会



筑紫次郎・筑後川、四国三郎・吉野川 川の兄弟縁組みへ向けて交流始まる

2005年7月の日ワーカーズで
吉野川から兄弟交流の提案

2005年10月吉野川から
筑後川へ第1回の訪問

2005年12月吉野川から
筑後川へ第2回目の訪問



2006年3月2～3日筑後川から7人が吉野川を訪問し流域団体と交流する。



2006年5月20～21日筑後川フェスティバルの大川に吉野川から24人が訪問。



吉野川訪問団の紹介、挨拶

交流座談会

吉野川交流展



夜なべ談義・皆で阿波踊り
とくしま号の名産品試食は
来場者の人気を集める。

2006年7月吉野川の藍が
筑後川の堤防で育っています。





吉野・筑後川市
魅力を写真で

吉野川市

（福岡県朝倉市）や、

満潮時に水しぶきを上

四国三郎・吉野川と

九州の筑紫次郎・筑後

川の兄弟縁組を目指し

ている吉野川交流推進

会議などが、両川の写

真を集めた「交際写真

展」を吉野川市鴨島町

鴨島の鴨島公民館で開

いている。十七日ま

で。入場無料。

両川の上流から下流

まで計二十点を展示し

た。筑後川は、二百年

前から使われ観光名所

法人・筑後川流域連携
倶楽部が提供した。

もに進めているNPO

は、縁組を同会議と

が狙い。筑後川の写真

流のきっかけとするの

とを知ってもらい、交

流域住民に両川のご

危峽のラフティングな

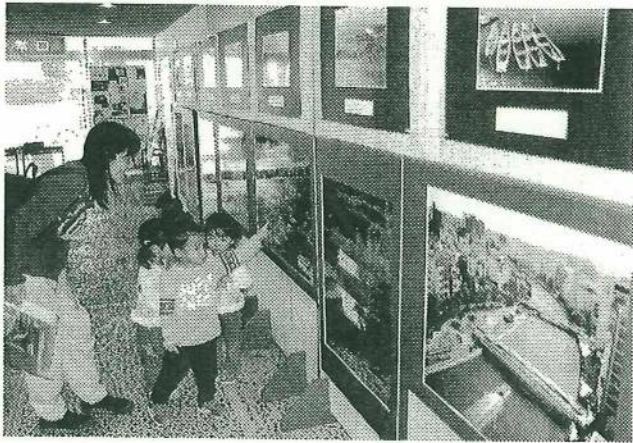
どを並べた。

雪中のかずら橋や大歩

どを紹介。吉野川は、

（佐賀県みやき町）な

げて逆流する下流域



吉野川と筑後川の写真を並べた交際
写真展＝吉野川市の鴨島公民館